

授業および教育環境等に関する学生アンケート実施報告

令和2年6月

東北大学大学院文学研究科
学務教育室教育改善担当

本報告は、令和元年度に学務教育室の教育改善担当において学生を対象に実施した「授業評価アンケート」および「教育環境評価アンケート」の結果をまとめたものである。文学部・文学研究科において「授業評価アンケート」が開始されたのは、平成10年度の後期、「教育環境評価アンケート」が開始されたのは平成15年度の後期からである。それ以降、学生の意見を授業および教育環境の改善により役立つように、質問項目を段階的にブラッシュアップさせながら今日に至っている。

「授業評価アンケート」の結果は各教員に授業毎に提示され、教員から必要に応じて教育改善担当にフィードバックをいただくことになっているが、本報告では文学部・文学研究科全体に関わる主要な質問項目に絞って、結果をお示ししたい。また「教育環境評価アンケート」の結果については、主要な質問項目の結果に加えて自由記述欄の記述（同内容のものを1つの記述としてまとめるなど、内容に若干の整理を施した）についても提示したい。これらのデータは、文学部・文学研究科の今後の方向性を考える上で、貴重な資料として扱われるべきものである。

なお、アンケート内容、実施方法等については、よりよいものとするために、今後も検討されるべきものであろう。忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

回答を寄せていただいた、学部生・院生諸君、ご協力・ご相談に乗っていただいた平塚貴志現教務係長をはじめとする教務系の事務職員の皆様、長岡龍作前学務教育室長、籠橋俊光前教育改善担当、永井彰現学務教育室長に感謝申し上げます。

令和2年6月30日

東北大学大学院文学研究科
令和2年度学務教育室教育改善担当
木村邦博
城戸 淳

【総評】

今年度は一昨年度のアンケート項目を踏襲して実施した。回収者総数は昨年度同時期を上回り（平成 29 年度 3033 人、平成 30 年度 3028 人、令和元年度 3585 人）、教員・学生双方におけるアンケートそのものの定着をうかがわせる。次年度以降も基本的な方針を踏襲しつつ、さらなるアンケートの定着・充実を図る必要がある。

「授業評価アンケート」からは、「授業への出席」80%以上の回答が、学部・講義で 95.2%、学部・演習で 97.1%、大学院・講義で 98.5%、大学院・演習で 97.3%であり、また「授業への総合判断」の「非常に良い」「良い」の合計が、学部・講義で 91.3%、学部・演習で 94.5%、大学院・講義で 88.1%、大学院・演習で 95.6%であった。今年度は大学院で改組が実施され、講義・演習いずれもその在り方を変えたものが含まれていたが、アンケートの結果からは改組以前と変わらず学部・大学院ともに各授業が円滑に行われており、また学生の満足度も高いことがうかがわれた。

学生からの声を適切に吸い上げるために、今後ともアンケート内容の検討等は引き続き行う必要があり、また、各教員レベルでの授業改善の努力も不断になされる必要があるが、改善を要する大きな点は現段階においては無いように思われる。

「教育環境評価アンケート」からは、「学生生活全般」に関する満足度について「満足である」「まあ満足である」の合計が 84.2%であり、また、「各種ガイダンスやオリエンテーション」、「『学生便覧』『講義概要』の活用」など、他の質問項目においても昨年度とほぼ近い割合か、昨年度より向上したものもあり、学生の多くが文学部・文学研究科での生活全般に満足している傾向が見てとれる。

しかしながら、検討を要する点もいくつか存在する。軒並み 60%程度以上の満足度が並ぶなか、教室については満足度が 56.2%にとどまり、またそのことが自由記述欄にも反映している。その他、主なものについて以下に挙げる。

- ・講義関係では、専修決定や単位取得確認に関する意見、教職関係の授業に関する要望がある。具体的に、現行の専修決定の時期や方法に関する不満、既取得単位の状況確認、各種情報伝達に関して改善の要望が寄せられている。なかでも既取得単位数の確認については昨年度から意見が寄せられており、システム上での改善の必要が認められる。新設の大学院総合科目について、時間割・受講方法の改善を求める意見やその意義を問う意見があったことにも留意すべきであろう。

- ・研究室・教室等の設備に関して、複数名から改善を求める意見が寄せられている。具体的には、プロジェクター等の HDMI 接続に関して要望が多く寄せられている。これは昨年度までには見られなかった傾向であり、端末等の仕様変更による問題が浮上していると思われるが、授業・研究環境整備の観点から今後の確実な対応が必要である。空調設備不良の改善要望や机・椅子に対する不満も、昨年度よりも減少したが依然として見られる。

- ・研究室内での人間関係に関する指摘や、対応方法についての要望が寄せられている。文学部・文学研究科では、「ハラスメント相談窓口」・「学生相談窓口」を設け、適切

な対応に努めているところであるが、かかる指摘が寄せられたことはよりいっそうの対応や啓蒙の必要を認めるものである。以下、今年度のハラスメント相談窓口・学生相談窓口の URL・メールアドレスを提示する。

〈各種相談窓口 URL〉

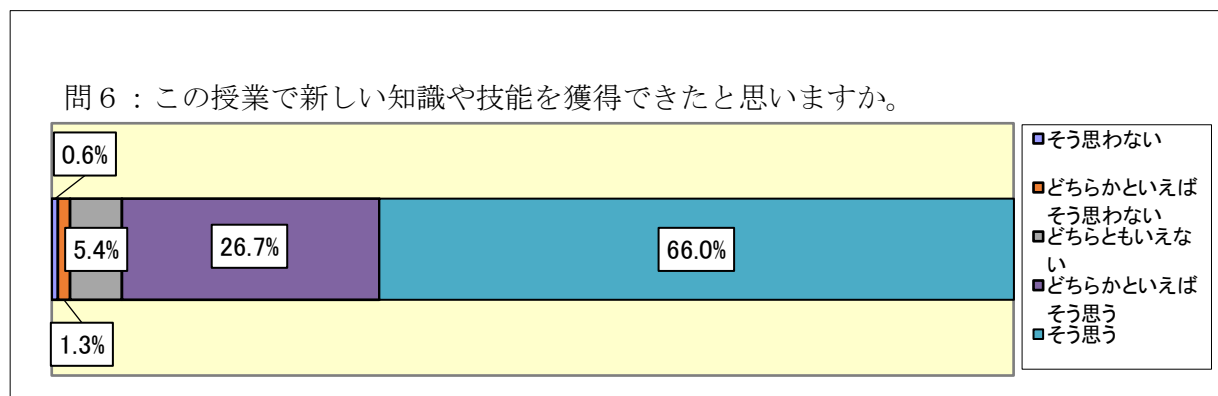
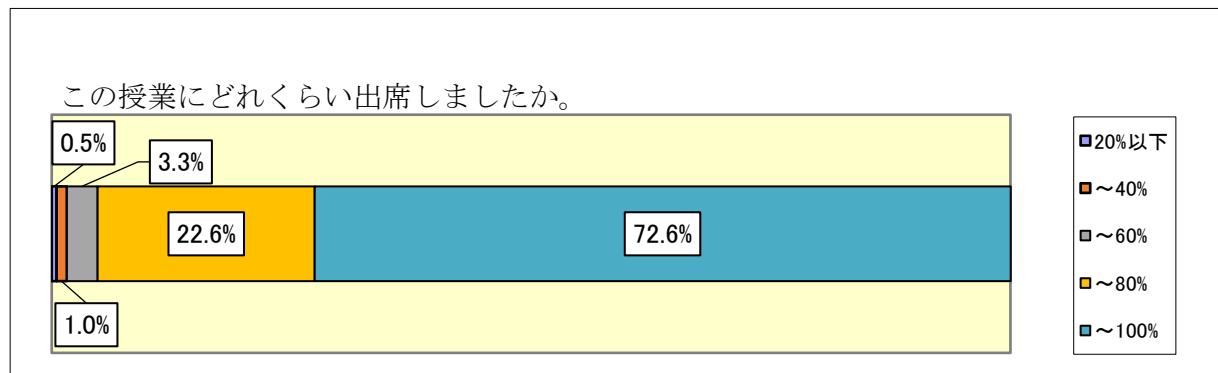
<https://www.sal.tohoku.ac.jp/jp/campus/madoguti/>

〈ハラスメント相談窓口〉（専用電話番号） 022-795-5951

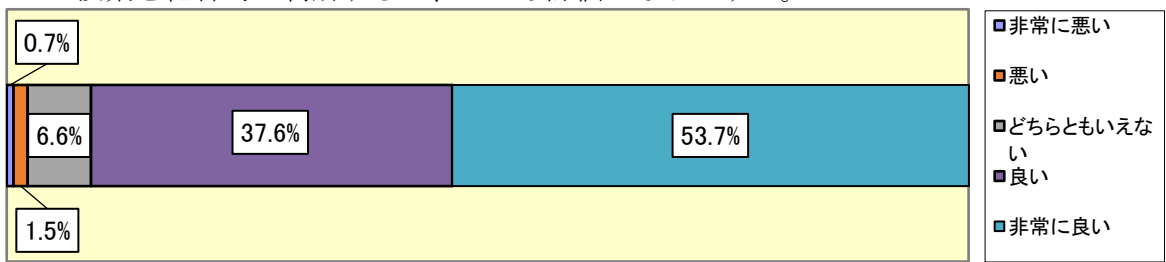
〈学生相談窓口〉 専用メールアドレス soudan-sal*ml.tohoku.ac.jp

授業評価アンケート

学部・講義

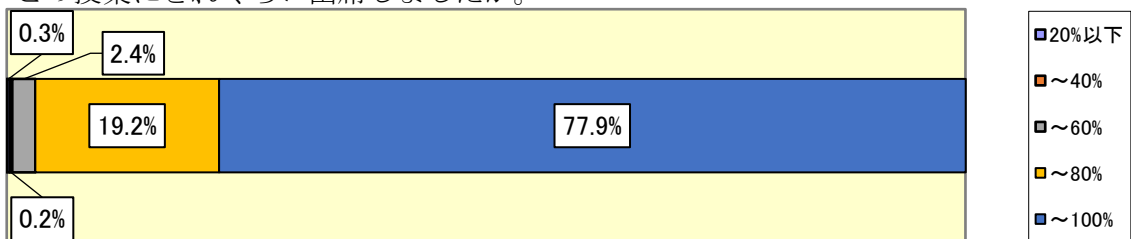


この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。

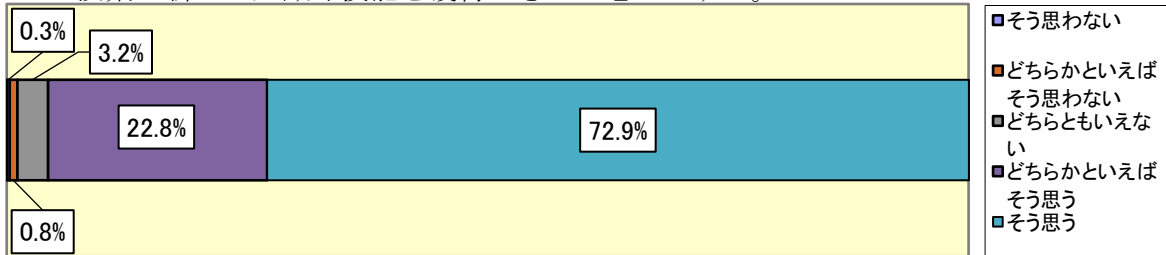


学部・演習

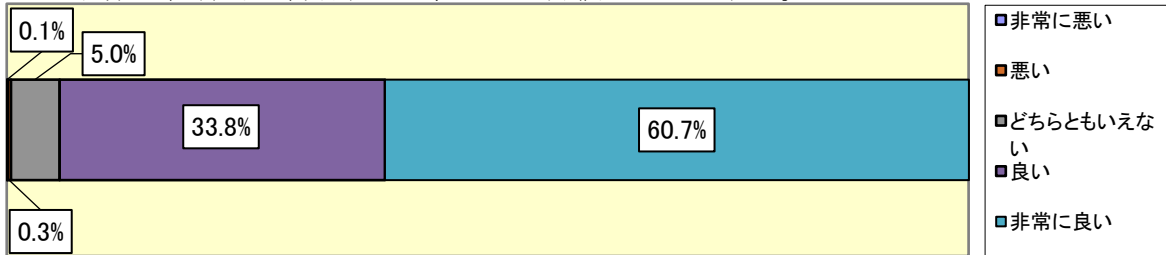
この授業にどれくらい出席しましたか。



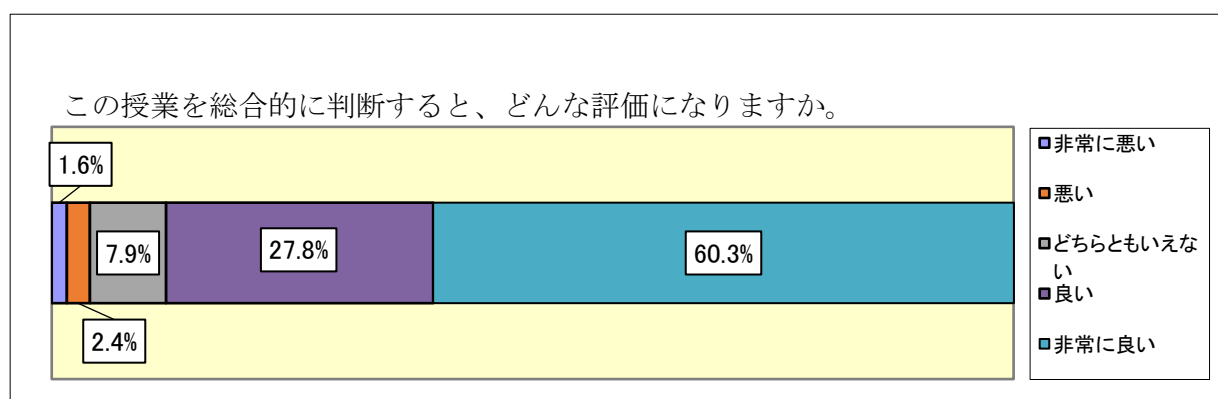
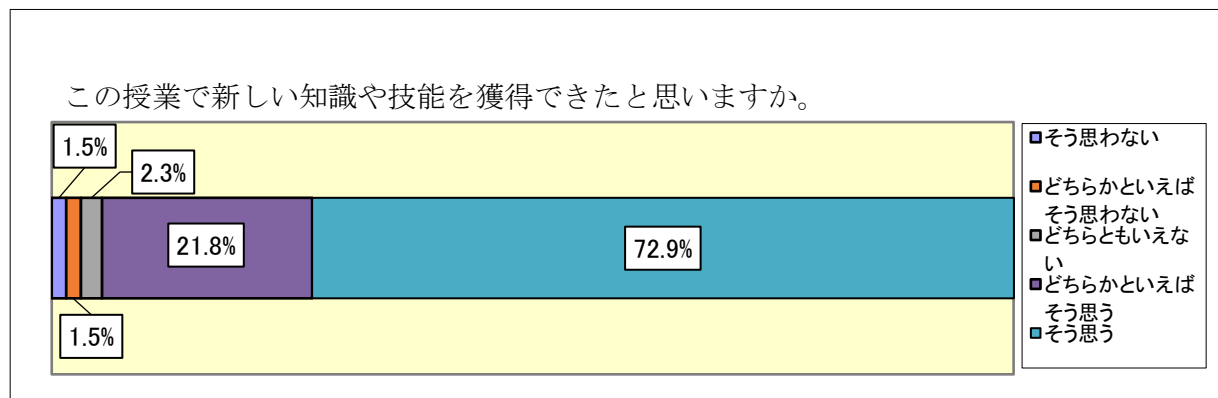
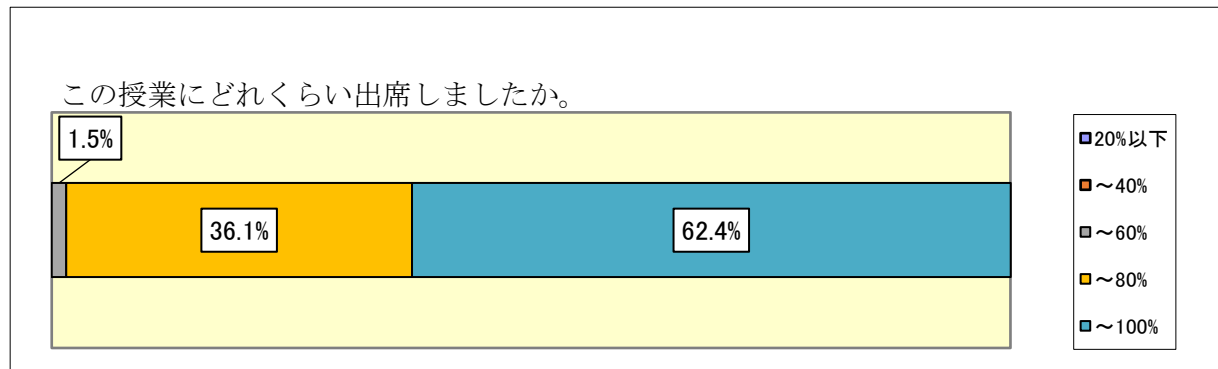
この授業で新しい知識や技能を獲得できたと思いますか。



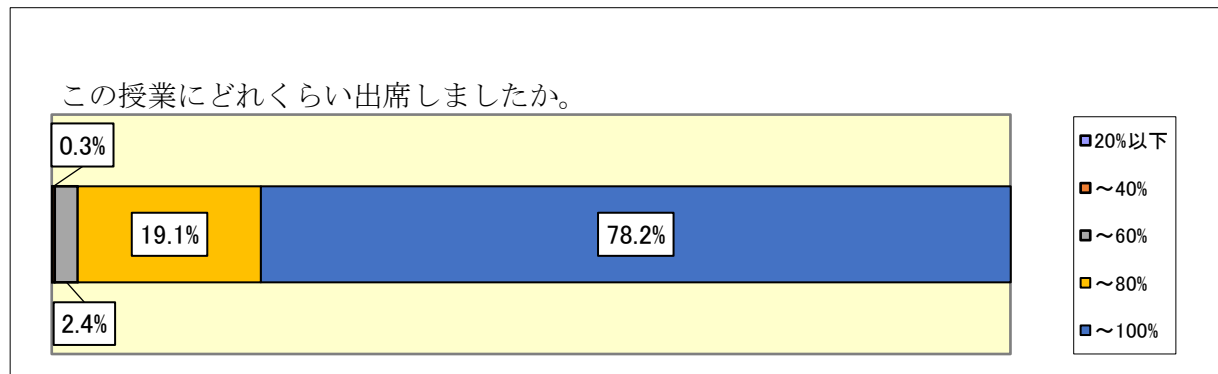
この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。



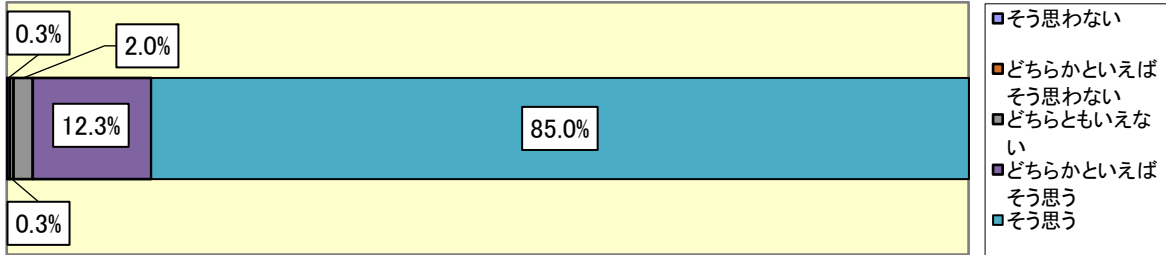
大学院・講義



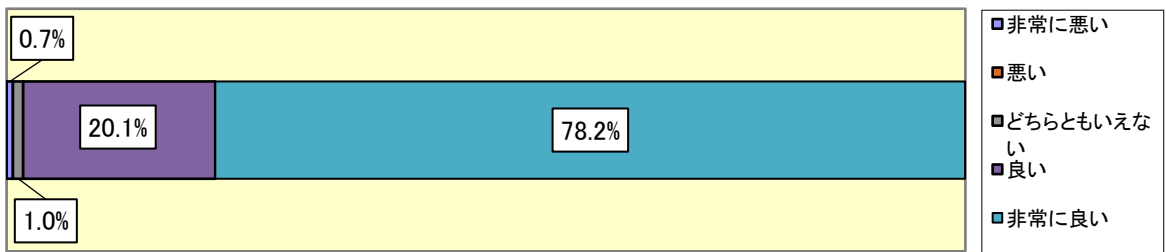
大学院・演習



この授業で新しい知識や技能を獲得できたと思いますか。

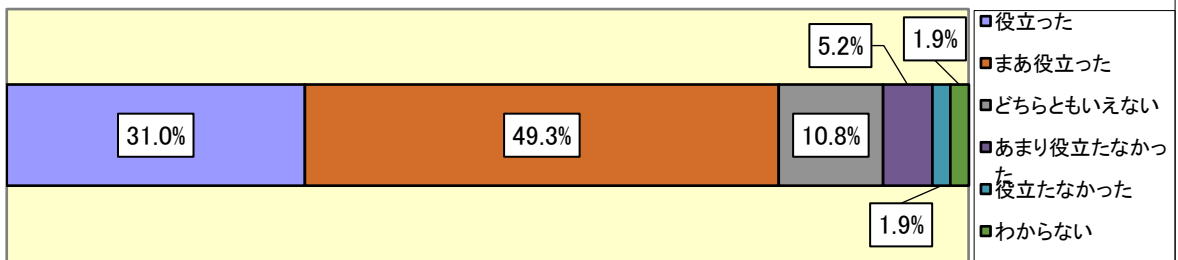


この授業を総合的に判断すると、どんな評価になりますか。

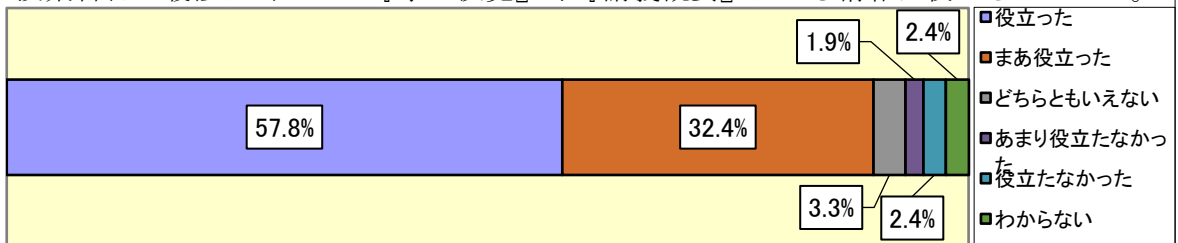


教育環境評価アンケート

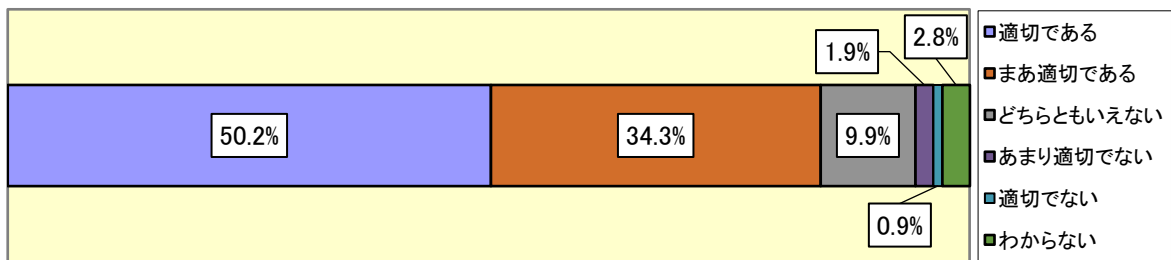
各種ガイダンスやオリエンテーションは履修科目の決定や学生生活に役立ちましたか。



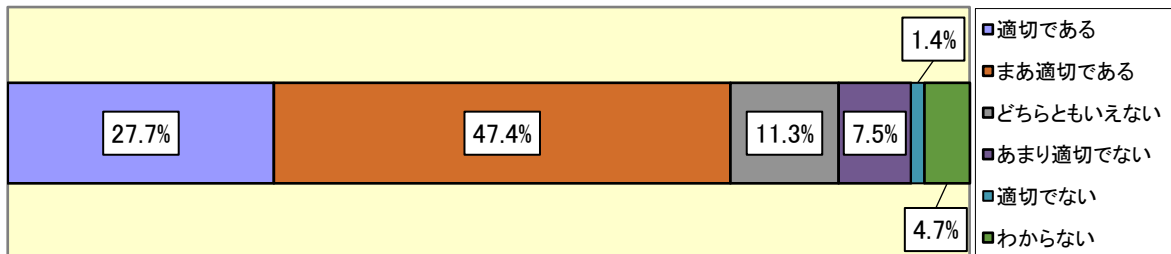
授業科目の履修に当たって『学生便覧』や『講義概要』による情報は役立ちましたか。



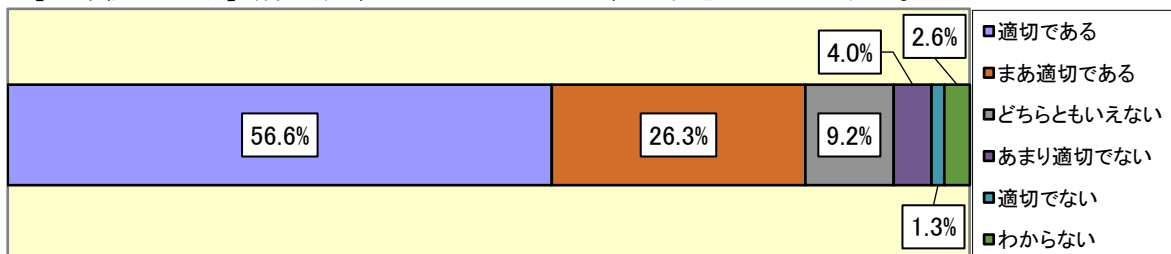
ふだんの学習相談や助言を含め、教員による履修指導は適切ですか。



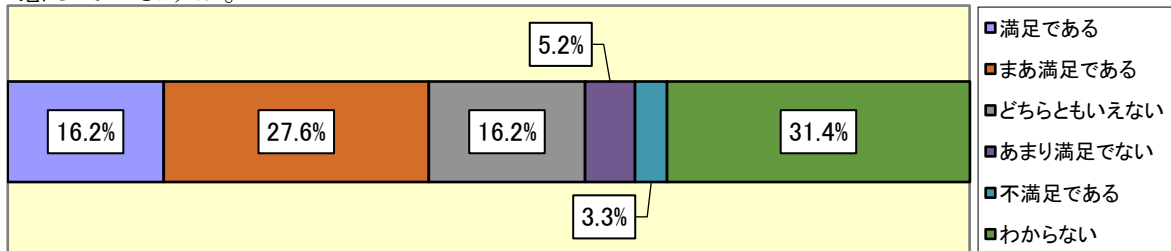
現在のカリキュラム（履修科目の構成）について、どう感じていますか。



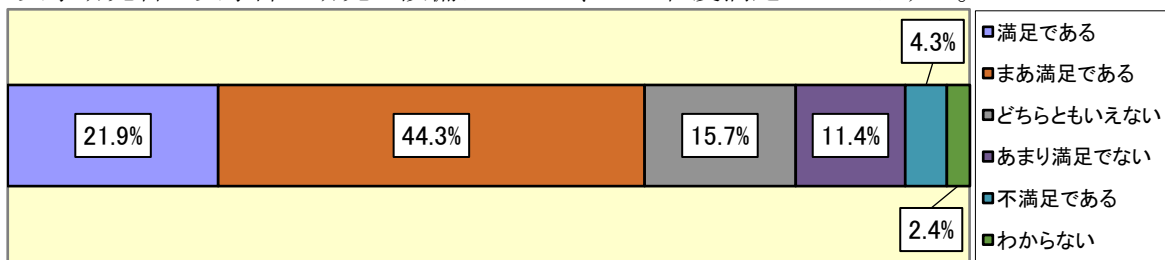
【大学院生のみ】論文指導のあり方について、どう感じていますか。



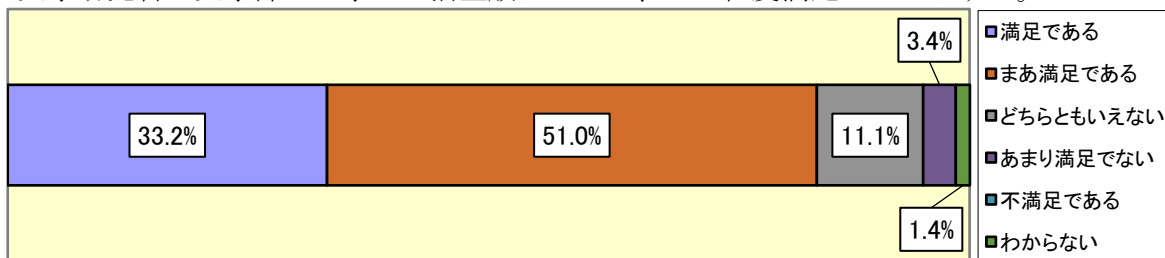
授業以外の講座（就職講座、公務員講座、教員養成講座）等について、どのように感じていますか。



文学研究科・文学部の研究室設備について、どの程度満足していますか。



文学研究科・文学部での学生生活全般について、どの程度満足していますか。



自由記述欄

(41 枚分。アンケート総回答数：223 枚)

◎授業の履修、単位の取得について

- 1) 学務情報システム上で履修単位数がどのくらい不足しているかなどを一目で分かるようにしてほしい。(B4) ×2
- 2) 他専修の科目と自専修の科目が重なっていて履修できない。(B2) ×3・(B3) ×3・(B4)。全学教育科目を減らし専門教育科目を増やしてほしい。(B4) 実習の単位数の増加。(B4) 教職科目を卒業単位に認めてほしい (B2)
- 3) 専修決定方法の改善 (B2) ×2 決定時期を遅らせたほうがよい。(B2) (B4) 専修定員の是正。(B2)
- 4) 大学院総合科目の時間割・受講方法の改善(大学院)。存在意義が分からない。(M1) 今後国際大学院プログラムは増えるのか。(M1)
- 5) 就活に関するさらなる情報提供。(B2) 企業との連絡の円滑化を希望。(B2)

◎研究室・研究環境について

- 1) 博士論文執筆の自由度は高いが負担が大きい。3年で提出は難しい。(D3)
- 2) 女性スタッフの増加を希望。(D1)
- 3) 対人関係などの研究室内のトラブルを室内で収める傾向があり、学部全体で対応しようとしていない。(M1)

4) 講義受講者数増加によって発生した TA 業務増加の是正。(M1)

◎講座・ガイダンス等について

・ガイダンス等が意味をなしていない。(B4)

◎窓口・シラバス・学生便覧について

・窓口の効率化: 昼休み・休日開設。(M2) (D1)、業務内容ごとの窓口設置希望。(M2)

・チューター給与の支払い遅延。(M1)

◎教室・設備等について

1) HDMI 入力対応を希望。(B3)・(M1)・(M2) (D2)

2) パソコン (パソコン室)・プロジェクターの修理・更新を希望。(B4)・(M1)・(D2)

3) 空調 (暖房) の修理を希望。(M1) × 2・(M2)・(D2)

4) 机の数過少・スペースの不足 (B3) × 3 机の数過剰 (B3) 机・イスの新調 (B2)・
(B4) 教室のにおい解消 (M2)

5) 時計・傘立ての設置希望。(B2) × 2

5) トイレの故障等を希望。(B3)・(B4)

◎図書館・厚生施設について

1) 生協・文系食堂の営業時間延長。コンビニ導入。(M1)

2)・文系食堂のレジ回転率向上。(B3)